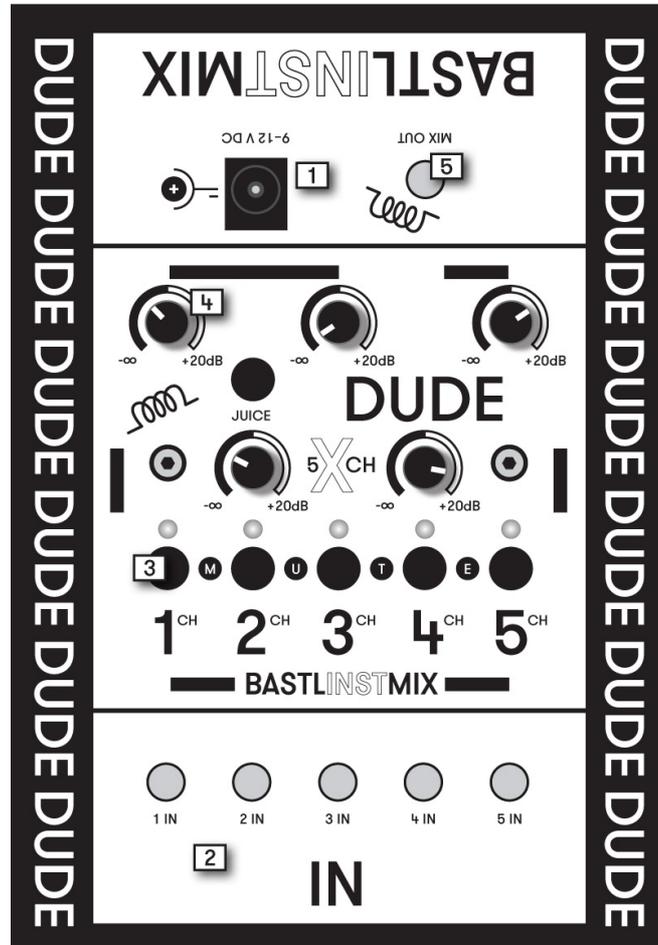




BASTL

INSTRUMENTS



Dude

取り扱い説明書

(株)アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

パワー

0、DUDE は、4x 単三電池、または 9-12VDC の外部電源によって駆動されます。極性はセンタープラス（内径 2.1mm）です。電源ジャックに AC アダプターを差し込むと、電池駆動の回路が切れ、Dude には外部からの電源が供給されません。

1、JUICE ボタンを押して、DUDE を ON または OFF にします。デバイスの電源が入っているかどうかを確認するには、MUTE ボタンスイッチのいくつかを押して、ライトが点灯しているかどうかを確認します。

ミキシング

2、DUDE には 5 つのモノラル入力チャンネルがあります。各チャンネルには前面に入力ジャックがあります。モノラルまたはステレオ信号/ケーブルを挿入できますが、ステレオジャックで入力した場合には DUDE は左チャンネルのみをミキシングします。

3、各チャンネルの信号は MUTE スイッチ・ボタンに送られます。チャンネルの LED が点灯すると、信号が通過し、チャンネルがアクティブであることを意味します。MUTE スイッチのボタンは機械式スイッチであり、クリックレス設計ではありません。低調波成分（サイン波）のスイッチング信号は可聴クリック音を発生させる場合があります。

4、各チャンネルのゲインノブで増幅量（センター～最大方向）または減衰量（センターから最小方向）を設定します。チャンネル当たりのゲイン量は最大 +20dB（10×ゲイン）です。

5、すべてのチャンネルからの信号は、アクティブなサミングステージと、モノラルからステレオスプリッターに供給され、左右のチャンネル用に別々の出力バッファが用意されています。これにより、出力ジャックはヘッドホンを使用して左右からデュアル MONO でモニタリングできます。またモノラルケーブル、またはステレオケーブルが使用できます。

FEATURES

- ・ 5チャンネルモノフォニックミキサー
- ・ チャンネルごとに最大+ 20dB（10倍）のゲイン・ノブ
- ・ チャンネルごとの専用ミュートボタンスイッチ(機械式スイッチ)
- ・ ヘッドフォンを駆動するためのデュアルモノ出力
- ・ 単三電池×4本（別売）または外付け AC アダプタ(別売) で電源供給 9-12VDC（極性はセンター+）

DUDE について

BASTL INSTRUMENTS の Dude は、バッテリー（またはパワーサプライ）で動作する 5 チャンネルのポータブル・オーディオミキサーです。ミニジャックの入力と出力を備え、各チャンネルにはミュートボタンと +20dB のゲインコントロールがあります。DUDE はモノフォニック・ミキサーですが、ヘッドフォンを駆動することができ、ステージ上のポータブル機材や、いくつかのガジェット系楽器やシンセサイザーなどをちょこっとまとめてサブミックスするには最高のコンパクト設計です。

DUDE は単三電池 X4 本、または外部 AC アダプター（別売）で動作し、その大きさは電池パックと同じくらい小さく設計されました。各チャンネルには十分なゲインがあるので、パッシブイコライザや、その他の簡単な回路を介して、信号を入力に出力を戻すことで、トーンジェネレーターに切り替えることもできる独創的なデザインです。

ミキサーとして、またはサウンドプロセッサとして

各チャンネルのゲインつまみがクリップしない範囲にある場合は、DUDE は非常にクリーンなミキサーです。シグナルがさらに増幅されるにつれて、信号は飽和し始め、全体的なミックスは倍音感を増しサウンドを変化させ、サウンドのカラー・質感のためのサウンドプロセッサのように利用することもできる設計になっています。。

モジュラー・シンセのミキサーとして

DUDE をパッシブ信号のスプリッタと組み合わせて使用する場合、さまざまなミキシング・シナリオに設定できます。2 つの DUDE を使用すれば、エフェクトのセンド・チェーンを実現できます。

トーン・ジェネレーターとして使う

DUDE は非反転ミキサーで信号の位相を反転させません。したがって、出力を任意の入力に戻し、フィードバックさせて、発振音を発生させることができます。信号をシンプルな EQ で実行することで、音色のピッチや文字を変更することもできます。より洗練されたエフェクトがフィードバックループ（コーラスやフェイザーなど）で使用されると、全体的な音の生成プロセスはずっと複雑で面白いものになるでしょう。入力/出力ジャックでパッシブ信号スプリッタを使用する方法は特にお勧めです。同じ信号を異なるゲインで複数の入力に適用すると、MUTE ボタンスイッチとの相互作用で、調整可能な発信によるインストゥルメンツを構成できるからです。

バッテリーやヘッドルームについて

充電式またはアルカリ乾電池を DUDE で使用できます。しかしながら一般的に、充電式バッテリーはヘッドルームに余裕がないことに注意してください。別売の外部電源アダプターを使用すると、電源は 6V まで調整され、アルカリ電池と同じヘッドルームが得られます。

ヘッドルームはクリッピングを開始する前の信号のスレッショルドです。ラインレベルの信号 +/- 1V で使用すると、+10dB ブースト以上でも十分なヘッドルームが得られます。バッテリーが放電すると、ヘッドルームが低下する可能性があります。よりユニークな種類の飽和が発生し、倍音を得た信号が得られるでしょう。

